

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	令和5年度西区地域力向上事業（助成事業）の提案について				
事業の概要 （背景、経緯、 現状、課題等）	<p>令和5年度の西区地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」（第2次募集）に提案のあった事業について意見を求めるもの。</p> <p>◎採択までの流れ</p> <p>① 西区行政推進会議にて審議（R5.6.12開催）</p> <p>② 西区協議会にて協議、意見聴取（R5.6.28開催）</p> <p>③ 採択の可否決定（R5.6月末予定）</p> <p>※地域力向上事業 市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、区の特性を活かした事業や課題を解決する事業</p>				
対象の区協議会	西区協議会				
内 容	<p>《令和5年度提案 1件》</p> <p><b>【提案団体】</b> 堀江しらべ隊</p> <p><b>【事業名】</b> 堀江城と武田信玄の戦いの跡の巡り歩き *1回目（50%以内）</p>				
備 考 （答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など）					
担当課	西区区振興課	担当者	袴田 隼希	電話	597-1112

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

令和5年度 地域力向上事業「市民提案による住みよい地域づくり助成事業」提案事業

番号	2	新規・継続	新規	採択回数	1回目(補助率50%以内)
事業名	堀江城と武田信玄の戦いの跡の巡り歩き				
提案団体	堀江しらべ隊				
実施時期	令和5年7月10日(月)～令和5年12月31日(日)				
実施場所	浜松市西区舘山寺町及び周辺				
参加予定人数	団体スタッフ 6名、参加者 120名				
総事業費	251,000円 報償費:60,000円 旅費:40,000円 需用費:10,000円 委託料:137,000円 使用料・賃借料:4,000円				
事業の目的	堀江城と武田信玄の戦いについて市民に広く周知すること ・地域の歴史を再認識し、歴史や郷土に関心を持つきっかけを提供する。 ・舘山寺の観光地としての魅力向上を目指す。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平山優先生(武田氏研究の第一人者)講演会 庄内協働センターにて『武田信玄の堀江城攻撃』について講演を実施する。</li> <li>・舘山寺町 史跡マップの作成・設置・配布 マップを1万枚印刷し、自治会で配布したり観光地に設置したりする。</li> <li>・陣地案内説明板の設置 陣があった場所5か所と観光施設2か所に設置する。</li> </ul>				
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史の再認識によって、人生の財産とすることができる。 三方ヶ原合戦の起因となったのが『堀江城』で、現在では『浜名湖パルパル』になっていることを知る市民は多くない。地元の隠れた歴史を多くの市民に知ってもらい、『人生の財産』を獲得すると同時に郷土愛を育むきっかけになる。</li> <li>・説明板を新たな観光資源として、舘山寺のさらなる魅力向上につながる。 近年では舘山寺の観光客数も減少傾向にある。NHK大河ドラマ「どうする家康」で歴史への関心が高い今だからこそ、舘山寺と武田信玄の意外なつながりをアピールすることで、観光地としてさらなる魅力アップにつながる。</li> </ul>				

行政推進会議における審査結果	市執行上限額	125,000円
<p><b>【審議・採点】</b> 25点満点中18.8点</p> <p><b>【審査結果】</b> 採択の対象と考える。</p> <p><b>【委員から出た意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうする家康」で歴史の関心が高まる中で、タイムリーな企画だと言える。</li> <li>・地域資源をタイムリーに発掘し、地域振興に生かそうとする着眼点に敬意を示したい。</li> <li>・地元にはまだ知られていない史跡が数多く存在するので、この提案を機に活動を拡大してほしいと思う。</li> <li>・とても素晴らしい企画で、史跡マップはぜひ西区以外でも配布してほしい。</li> <li>・大河ドラマ効果で市民も地域歴史への関心が高めており、非常に良いタイミングである。大河ドラマと一緒に事業も盛り上がることを期待する。</li> <li>・小中学生が地元の歴史を学ぶことは大変勉強になり、人生の財産になると思う。</li> <li>・地域の観光資源として魅力を感じる。</li> <li>・三方ヶ原合戦に起因していた堀江城跡地が浜名湖パルパルであることを市民に周知することで、歴史の再認識と観光の活性化につながると思う。</li> </ul>		

## 【補足説明資料】

### —堀江城—

遠江国敷知郡（現在の浜松市西区舘山寺町堀江）にあった城。

鎌倉時代に大沢基久によって築城され、戦国時代には宇都山城・浜名城とともに三河に対する抑えとして機能するも、1569年には徳川家康の手中に収まる。

背後が浜名湖・内浦であることから、湖上運輸の拠点としての役割を担っていた。

跡地は、遊園地『浜名湖パルパル』となっている。

### —堀江城と武田信玄—

「三方ヶ原合戦の原因は『堀江城』だった」という説が浮上している。

前述の通り、堀江城は湖上水運の拠点となっており、武田軍は堀江城を攻撃することで浜松城への物資輸送ルートを断ち、浜松城を兵糧攻めにしようとして画策していた。

一方で徳川家康は、堀江城を失えば浜松城の維持が困難となることからやむを得ず出陣し、これが三方ヶ原合戦につながったと言われている。

三方ヶ原合戦は武田軍が圧勝し、翌日には堀江城の攻撃を開始した。下図の通り、舘山寺周辺には武田軍の陣の跡が集中している。しかし、天候の悪化などが原因でわずか4日で撤退を余儀なくされた。

### —平山 優—

ひらやま ゆう(1964年～)

日本の歴史学者で専門は日本中世史・近世史。

立教大学大学院文学研究科博士前期課程史学専攻

(日本史)修了。山梨県史編さん室、山梨県立

美術館、山梨県立中央高校定時制教諭を経て、健康科学大学特任教授に就任。

NHK大河ドラマ「真田丸」「どうする家康」の時代考証を担当し、戦国分野、特に武田氏研究は第一人者を務めている。上記の説も平山が最初に提唱したものである。

